

Case13 (2021.6.14)

10 歳未満 男性

主訴:小児夜間の遺尿

診断名:夜尿症⁸⁹

関わった医療機関(施設):小児科、鍼灸院

夜尿症の診断を持つ患者が、鍼灸院に来院した症例。
施術にあたった鍼灸師は灸熱緩和紙を用いた点灸で対応した。
また、小児科医に対して、患者を通じて施術報告書を渡し灸施術の理解を得られるよう務めた。

症例検討:

Q,(鍼灸師)施術報告に対する医師からの反応はあったか?

A,(報告者)患者を通じてであるが、鍼灸の継続について問題ないとの返答であった。

Q,(医師)患者は小児だが、施術時の様子はどうだったか?満足度はあったか?

A,(報告者)施術中は気持ちが良いと眠っていた。

(鍼灸師)医師から聞いた漢方¹⁰を保護者に伝えた経験がある。結果は有効であった。

Q,(鍼灸師)(鍼灸の)離脱が早かったのではと言うご意見だが、その後症状が戻ってしまった事に対し、保護者へのフォローはどのようにされたのか?

A,(報告者)保護者も患者であり、鍼灸に対して理解と信頼があったので特に問題はなかった。今日の話聞き、今後は漢方を処方できる医師への紹介も考えたい。

(鍼灸師)鍼灸だけにとらわれず、他のアプローチを知り患者に伝える事が患者のためになると思う。

(医師)報告を聞きながら日本泌尿器科学会の診療ガイドラインを見たが、数%が大人まで症状が残る。治療の標的として自尊心を守る部分へのアプローチも大切かもしれない。

8. 夜尿症診療のガイドライン 日本夜尿症学会

[夜尿症診療のガイドライン \(jsen.jp\)](http://jsen.jp)

9. 日本泌尿器科学会

[『おねしょ』\(夜尿症\)が治らない | 日本泌尿器科学会 \(The Japanese Urological Association\)](http://www.jua.or.jp)

[【一般のみなさま】](#)

10. 夜尿症の発症機序からみた漢方治療 日本東洋医学雑誌 第39巻 第3号 竹谷 徳雄

[ja \(jst.go.jp\)](http://jst.go.jp)

(鍼灸師)報告を聞きながら夜尿症に対する鍼灸の効果に関するメタアナリシスの報告を見つけた。医療従事者に説明する場合のエビデンスとなるのでは。

所属する順天堂大学では小児の睡眠時無呼吸症候群を専門にしている医師がいる。ADHDや夜尿症との関係も示唆され、治療法もある。結果が上手く得られない時は、鍼灸以外のアプローチも念頭に置くことが肝要だ。

Q,(鍼灸師)中医学的に大人の夜尿症と小児の夜尿症で捉え方は変わるのか？

大人の夜尿症の患者が来院したが、精神的な問題が強いと感じた。

A,(医師)年齢で分けるというより、望聞問切に従い総合的に証を判断する。

11. Efficacy of Acupuncture in Children with Nocturnal Enuresis: A Systematic Review and Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials

夜尿症の小児における鍼治療の有効性

[Efficacy of Acupuncture in Children with Nocturnal Enuresis: A Systematic Review and Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials - PubMed \(nih.gov\)](#)

12. 睡眠時無呼吸症候群(SAS)と子どもの発達の問題 第5回日本小児耳鼻咽喉科学会
[_pdf \(jst.go.jp\)](#)